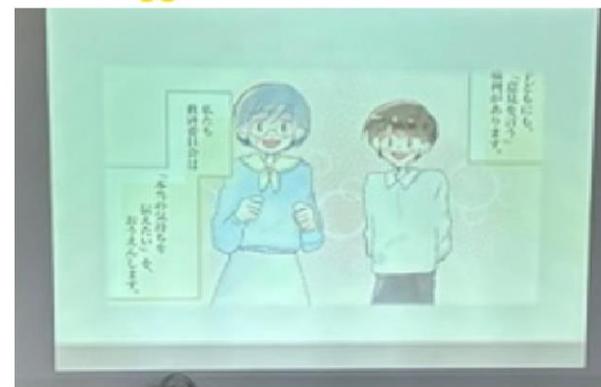


樽井地区福祉委員会から伝市メールを活用して、子どもの権利に関する講演依頼を受けました。7月25日（金）樽井防災コミュニティーセンターで、子ども政策課の職員が、「生活の中の子どもの権利」をテーマに「子どもの権利」と新しくできた「子どもの権利救済委員会」の話をしました。地区福祉委員の方は、日頃から子ども食堂等で子どもたちとかかわることも多く「私たち子どもの頃は、親や目上の人に対して、意見を言うことができなかった時代ですが、今日の話聞いて子どもの話を聞くって大事なことだなあと感じました。」「日ごろ考える機会がないので、講座を受けて改めて考える機会を得て、これから役立てたい。」等のご意見をいただきました。



子どもたちは、いろいろな場面で自分の意見を言えなかったという経験があります。本当の気持ちを伝えたい。わかってほしい。そんな思いを救済委員会は、おうえんします。リーフレットにはそんな場面が描かれています。